

(様式2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名	県単交通安全施設等整備事業		路河川名等	(国)143号	
事業毎の通番	2	市町村名	上田市	箇所名(ふりがな)	上田原(うえだはら)
事業目的	当路線は松本地域と上田地域を結ぶ幹線道路であり、青木村方面から上田市街地への通勤車両等交通量が多い。しかし、当区間では南小学校の通学路に指定されているが、横断歩道も設置されているが狭い歩道における待ち場も無く車いすも通行できない状態であるため、歩道利用者の安全が脅かされている。地域住民からも安全対策要望が高まっているため、歩道整備により歩行者の安全を確保する。				
しあわせ信州創造プランにおける位置付け	第5編 施策の総合的展開 第4章 4-2 県民生活の安全確保 第5章 5-2 快適で暮らしやすいまちづくり	事業実施の根拠法令等	社会資本整備重点計画法 交通安全施設等整備事業に関する法律		
関連する事業、計画等	H24通学路緊急合同点検				
保全対象・範囲 受益対象・範囲	南小学校 通学者他 現況自動車交通量:13,528台/日、現況自転車歩行者交通量:51台・人/12h				
着手年度	平成27年度	事業期間	3年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)
完成年度(見込み)	平成29年度	費用対効果	—	国庫	—
全体事業内容(主な工種)	歩道設置工(片側) L=50m W=3m			20,000	—
年度事業内容(主な工種)	用地測量 1式			0	—
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	利用者の安全確保、特に通学児童の交通事故の減少が期待される			
	間接的効果(定量的・定性的)	通学路の最短化 通行車両の交通事故抑制			
評価の視点	必要性	○現況自動車交通量 : 13,528台/日 ○現況自転車歩行者交通量 : 51台・人/12h	評価	A	
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : 1つ整合(通学路緊急合同点検(H24)) ○緊急輸送道路の路線指定 : 第一次緊急輸送路	評価	A	
	効率性	○事業期間 : 3年間(H27~H29)	評価	B	
	緊急性	○近年の交通事故件数 : なし ○通学路対策 : H24緊急合同点検を踏まえた対策箇所(上田市立南小学校) ○現況の歩道幅員 : 歩道なし	評価	B	
	計画熟度	○事業情報の共有 : 上田市へ事業説明 ○地域の取り組み : 協力的である。(地域住民や市町村から事業計画に対して要望あり) ○地域の合意形成 : 事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働 : 住民参加で交通安全対策について検討している	評価	B	
	部意見	自動車交通量の多い路線であるが、この部分だけ歩道が抜けており、早急に安全確保を図る必要がある。 建物補償もなく、事業がスムーズに実施可能。	行政改革課意見	必要性、重要性が認められる。	評価結果
				○	B

### 位置図

### 平面図

### 状況写真

### 標準横断面図

### 事業概要説明図表

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当箇所は、南小学校の通学路である。横断歩道が設置されているが狭い待ち場が無く、車いすも通行できない状態、危険な状況。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	川西自治連合会から、毎年要望が出されている。地元の地区からも上田市を通じて歩道設置の要望が出されている。
③事業説明等の経緯	H25.10.31 地権者へ土地の提供について意向確認 H26.9.26 上田市へ歩道事業について説明
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	通学路緊急合同点検関連
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	現道に歩道を設置することにより、住民生活環境を大きく変えることはない。
⑥地域活性化への影響と配慮	歩道設置がされると、歩行者の安全が確保され、観光客も歩きやすくなり、地域が活性化される。
⑦その他	特になし

事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 23' 26"
	東経:E 138° 13' 9"